



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 株式会社KHC 上場取引所 東
コード番号 1451 URL <https://www.khc-ltd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 喜夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石川 慎哉 TEL 078-929-8315
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,961	1.6	321	49.1	300	57.0	192	60.2
2023年3月期第2四半期	4,881	△10.4	215	20.9	191	19.5	120	19.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 192百万円 (60.3%) 2023年3月期第2四半期 120百万円 (19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	48.27	—
2023年3月期第2四半期	30.26	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,273	6,291	41.2
2023年3月期	16,130	6,157	38.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,291百万円 2023年3月期 6,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,502	4.1	550	△8.8	476	△13.2	307	△13.6	77.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,005,350株	2023年3月期	3,985,350株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	10,527株	2023年3月期	10,527株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	3,982,801株	2023年3月期2Q	3,965,604株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことに伴う社会経済活動の正常化に向けた動きにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、長期化するロシア・ウクライナ情勢や円安に起因する原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇や、世界的な金融引き締め等による世界経済の減速懸念にも注視する必要があるなど、景気の先行きに対する不透明感は、依然として強い状況にあります。

当社グループが属する住宅業界におきましては、持家及び戸建分譲住宅の新設住宅着工戸数が、長期に亘って前年同月割れとなる低調な推移が継続しております。また、総合住宅展示場の来場者数が減少傾向にあり、建築資材価格高騰に伴う住宅取得価格の上昇や物価高に起因する住宅取得マインド低下の影響が懸念されるなど、依然として厳しい受注環境が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、連結子会社5社がそれぞれの特色を活かした独自のブランドを構築するマルチブランド戦略と、成長戦略としてのエリア拡大及び顧客層の拡大により地域におけるマーケットを確立し、長期的に成長することを経営戦略として事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、受注済み案件の早期着工と工事進捗管理の徹底に引き続き注力するとともに、注文住宅の受注悪化に伴う期首の受注残減少に起因する売上高の減少を、建売住宅へのシフト等でカバーすることにより、売上高と利益の確保に努めました。また、低迷する注文住宅市場においても、根強い人気がある平屋を通じて注文住宅の魅力を訴求することで、住宅取得の潜在ニーズを引き出すべく、9月2日、3日の両日、兵庫県初となる平屋専用分譲地「hitotoki (ひととき)」(兵庫県加古郡稲美町)において、当社グループ5社それぞれの平屋モデルハウスをお披露目する街びらきイベント「平屋いえまち博」を開催いたしました。

注文住宅におきましては、厳しい受注環境を背景に、新規受注の獲得に苦戦を強いられており、受注残の積み上げ不足による影響が懸念される状況となっております。期首の工事中案件が前年同期に比べて少なかったこと等により、注文住宅の完成引渡棟数が前年同期に比べて大幅に減少したため、当第2四半期連結累計期間における「住宅請負」に係る売上高は、前年同期を下回ったものの、利益面では、価格転嫁による原価率の改善が進んでおり、連結業績における各段階利益の増加に大きく寄与いたしました。

建売住宅におきましては、注文住宅において見込まれる売上高の減少をカバーすべく、販売価格の見直しなど、値頃感のある価格設定による販売促進に注力する一方、工期のサイクル短縮を厳格化するなど、販売とのバランスがとれた在庫マネジメントの強化を進めました。原価上昇に伴う販売価格の高騰で、顧客の動きが鈍化しているなど、建売市場における受注環境の悪化は続いているものの、引渡棟数は前年同期に比べて増加し、当第2四半期連結累計期間における「分譲用建物」に係る売上高は前年同期を上回る実績となりました。

分譲用土地におきましては、引渡区画数が、造成工事の遅れの影響等により販売不振となった前年同期に比べて増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間における「分譲用土地」に係る売上高は前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,961百万円(前年同期比1.6%増)となり、営業利益は321百万円(同49.1%増)、経常利益は300百万円(同57.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は192百万円(同60.2%増)となりました。

なお、当社グループは住宅事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。売上種類別の概況は、以下のとおりです。

「住宅請負」につきましては、完成引渡棟数が120棟(前年同期は155棟)となり、売上高は2,987百万円(前年同期比5.9%減)、「分譲用土地」につきましては、引渡区画数が80区画(前年同期は73区画)となり、売上高は1,423百万円(前年同期比13.5%増)、「分譲用建物」につきましては、引渡棟数が23棟(前年同期は21棟)となり、売上高は459百万円(前年同期比14.7%増)、「その他」につきましては、仲介手数料の増加により売上高は90百万円(前年同期比73.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ857百万円減少し、15,273百万円となりました。

流動資産につきましては、仕掛販売用不動産が349百万円増加した一方で、現金及び預金が364百万円、完成工事未収入金が182百万円及び販売用不動産が732百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ866百万円減少し、13,065百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が31百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、2,207百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ990百万円減少し、8,981百万円となりました。

流動負債につきましては、工事未払金が62百万円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が137百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、5,779百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が989百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,002百万円減少し、3,201百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、6,291百万円となりました。

これは、配当金71百万円の支払いがあった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円を計上したことに伴い利益剰余金が120百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は41.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月8日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,323,277	3,958,823
完成工事未収入金	1,010,782	827,916
未成工事支出金	7,512	8,094
販売用不動産	5,929,695	5,196,808
仕掛販売用不動産	2,424,283	2,773,710
原材料及び貯蔵品	12,171	12,528
その他	225,669	288,828
貸倒引当金	△1,353	△981
流動資産合計	13,932,038	13,065,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	875,993	890,686
土地	980,174	994,773
その他（純額）	14,857	17,187
有形固定資産合計	1,871,024	1,902,647
無形固定資産		
ソフトウェア	48,188	40,064
その他	226	226
無形固定資産合計	48,414	40,290
投資その他の資産		
投資有価証券	1,898	2,053
繰延税金資産	146,795	138,059
その他	161,668	155,102
貸倒引当金	△31,741	△30,792
投資その他の資産合計	278,620	264,422
固定資産合計	2,198,059	2,207,361
資産合計	16,130,097	15,273,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	582,590	519,964
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	4,434,417	4,572,392
未払法人税等	97,352	94,079
未成工事受入金	55,314	63,236
賞与引当金	59,600	51,822
役員賞与引当金	13,000	7,500
完成工事補償引当金	16,797	15,213
その他	309,183	255,500
流動負債合計	5,768,256	5,779,709
固定負債		
長期借入金	3,994,642	3,005,189
退職給付に係る負債	209,508	196,580
固定負債合計	4,204,150	3,201,769
負債合計	9,972,406	8,981,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,504	484,054
資本剰余金	967,061	973,611
利益剰余金	4,712,887	4,833,603
自己株式	△18	△18
株主資本合計	6,157,434	6,291,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	361
その他の包括利益累計額合計	257	361
純資産合計	6,157,691	6,291,611
負債純資産合計	16,130,097	15,273,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,881,397	4,961,710
売上原価	3,935,478	3,902,943
売上総利益	945,919	1,058,767
販売費及び一般管理費	730,251	737,287
営業利益	215,667	321,479
営業外収益		
受取利息	105	97
受取配当金	47	50
貸倒引当金戻入額	1,915	1,469
受取手数料	3,073	2,524
助成金収入	6,200	—
その他	2,035	4,328
営業外収益合計	13,376	8,471
営業外費用		
支払利息	28,773	29,056
その他	9,169	817
営業外費用合計	37,943	29,873
経常利益	191,100	300,077
特別利益		
固定資産売却益	—	584
特別利益合計	—	584
特別損失		
固定資産除却損	3,452	3,009
特別損失合計	3,452	3,009
税金等調整前四半期純利益	187,648	297,652
法人税、住民税及び事業税	63,027	96,705
法人税等調整額	4,610	8,683
法人税等合計	67,638	105,389
四半期純利益	120,010	192,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,010	192,263

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	120,010	192,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	103
その他の包括利益合計	16	103
四半期包括利益	120,026	192,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,026	192,367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結会計期間において、保有目的の変更により、販売用不動産14,599千円を土地に振替えております。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。